

西牧総領事のベイコズ区長表敬(報告)

【日時】2020年3月3日(火)

【場所】ベイコズ区庁舎

- 3月3日、西牧総領事は、ベイコズ区のムラト・アイトウン区長を訪問しました。第一次世界大戦時にロシア軍の捕虜となり、シベリア抑留されていたオスマン軍捕虜など約1,030人を旧日本軍は1918年にシベリアの収容所から解放し、津村諭吉中佐の指揮する「平明丸」が、ウラジオストクからイスタンブルに向けて出発。エーゲ海にてギリシャ軍による引き渡し要求を拒否し、最後にトルコに戻ることができました。この史実をふまえて、津村中佐の名前を冠した「津村通り」がベイコズ区に設置されました。
- 訪問では、西牧総領事は「津村通り」設置について謝辞を述べるとともに、JICAとの協力で1973年に設立されたイスタンブール海洋水産職業高校を始めとするベイコズ区と日本との友好関係を今後も更に緊密化していくことで一致しました。
- 訪問後にはアイトウン区長自らの案内による、「津村通り」の視察が行われました。「津村通り」の設置はベイコズ区議会及びイスタンブール市議会にて全会一致で本年1月に承認されました。

